

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校
新聞部
レスリング
おめでとう号



八エレスリング部史上初の快挙 国体92Kg級 2位 磯谷輝くん 5位入賞 島本翔くん

→左から島本君、磯谷くん、顧問の倉本先生

↓準決勝の様子。赤が磯谷くん



↓準々決勝で投げ技を決める磯谷くん（赤）



↓島本くんはグレコローマンスタイル80kg級に出場した。準々決勝で先取点を奪うが、惜しくも敗れた。



バイス受け、試合に挑んだ。徹底的に横から組んで、相手の投げ技を堪えて押さえ込み、相手の場外を取るなどして6対2で試合を終える。

いよいよ決勝。相手は今夏の大会で全国1位の足利大学付属高校の選手。はじめにパッシブを取られた。その後ローリングを4回連続で受け、0対9のテクニカルフォールで敗退した。

顧問の倉本先生は「初めての国体で、緊張を抑えるのが大変だった。けれど当日は終始良い形で攻められた。今回勝てたのはきつい練習を最後までしっかりこなせたことと、他の部員やご家族の協力もあり、チームとしての力が出せたことが大きい」と話された。

磯谷くんはレスリングでの大学進学を希望している。大学でレスリングを続け、目標は「日本一になること」だ。今後の磯谷君に期待大だ。

10月4日、5日に第77回いちご一会とちぎ国体レスリング競技大会が開催された。コロナ禍により3年ぶりに行われた国体。本校からは磯谷輝くん(3-5)と島本翔くん(3-4)が出場し、見事な成績を修めた。(レスリング用語については右に解説を載せています)

夏の段階で「国体では3位入賞を目指す」と言っていたが、大会前になって優勝したいという思いが強くなった磯谷くん。試合中は自分の出せる力を出し切り、気持ちを楽にして挑んだ。全試合を勝ち切りたかったので、2位になれて嬉しい気持ちもあるけど、悔しい気持ちもある」と振り返る。

3週間ほどかけて体重を97kgから92kgに減量して臨んだ国体。自身が

1・2年生の時は国体は開催されなかったため、最初で最後の悲願の国体出場だ。

一回戦は宮崎工業高校の選手と対戦。余裕のある展開で実力を発揮し、8点先取によるテクニカルフォール勝ちとなった。続く二回戦は、静岡県立吉原工業高校の選手と対戦。相手に2点先取されるも得意の粘り強さで点数をのばし、試合終盤で連続得点。11対2でテクニカルフォール

で勝利した。

初日最後の試合の準々決勝では、帯広北高校の選手と対戦。相手は全国三位の選手で、倉本先生いわく「ここが勝負所」だったそうだ。前半で相手選手がパッシブを受け、攻撃権を獲得した磯谷くんが5点を先取した。後半は磯谷くんがパッシブを受け相手側の攻撃で1点をとられたが、グラウンドを守り切った。終盤には相手選手の死に物狂いの攻撃を受けるも、5対1で勝利し、準決勝へコマを進めた。

翌日の準決勝では、全国2位の日本体育大学柏高等学校の選手と対戦。試合前に倉本先生から「いつも通りのことを最後までやりきれ」とアド

知ってる？ レスリング用語

- ◆グレコローマンスタイル…競技者は下半身を攻防に用いることができない。
- ◆フリースタイル…競技者は全身を攻防(攻めることを防ぐこと)に用いることができる。
- ◆テクニカルフォール…競技時間内に指定数の得点差をつけた場合に勝利とする取り決め。
- ◆パッシブ…攻めが消極的な選手に与えられる注意。パッシブを受けた場合、対戦相手に1点入り、有利な状況が相手に与えられる。
- ◆ローリング…相手の腰に後ろから組みついて横に一回転する技。
- ◆グラウンド…レスリング用語で寝技。またその攻防。

これで君もレスリング通!!